From Readers デジモノ
購入顛末記 1

携帯オーディオでジャコを楽しむ

金曜日の昼下がり、私は自宅からさほど遠くない家電量販店の携帯オーディオ・コーナーをうろうろしていた。ウィークデイの午後とあって、人影はまばら。コーナー奥に立つ店員が、何やら胡散臭げに私のほうを見ている。「年寄りが携帯オーディオ見てちゃいけねえか」とカチンときながら、しかしいささか照れくさい。

棚に視線を戻せば、百花繚乱の態。iPodがいいかネットワークウォークマンがいいか、あるいはもっといいモノがあるのか。ラックの『BCNランキング』を手に取れば、「iPodばかりがトレンドじゃない‼」と書いてある。

私はパソコン商売で一時代を過ごし、リタイアした年寄りだ。アップルのiPodが出たときは、正直びっくりしたものである。すごいと思った。パソコンを使わなければ楽しめないのだから。iPodが主役、パソコンは脇役というところがいい。

20分ほど、あれこれ手に取って試聴したり、デザインを眺めたりしていたが、相変わらず店員は近寄ってこない。年寄りの冷やかしと思っているのか、携帯オーディオは若者のものと思っているのか。かまわん、店員に「お勧めはどれ」と訊く気はない。自分で決める。

店員に「ほらね」と思われるのがしゃくだったが、私はどれにするか決めかねてコーナーを離れた。店内をぶらぶらしながら、どれにしようか悩む——この時間がいいのだな。

店に入って40分ぐらいたっただろうか、とうとう決めた。ネットワークウォークマンNW-E507。

戻ってくだんの店員を呼び「ちょうだい」と言ったら、冷たく「いま、ないんです。明日は入るかもしれません」と返ってきた。

ううむ、けしからん。悩み抜いて買うことを決めた客をがっかりさせるとは。いま、手に入れたい。家に帰ってすぐに使いたいのだ。しかたがない。メモリは512MBになってしまうが、在庫のあったネットワークウォークマンNW-E505を買った。

ワクワクしながら家に戻る。でも、少し不安だ。どうやって音楽を入れるのかを知らない。ソニーのオススメに従ってインターネットの音楽ダウンロードサイト「mora」を開いてみたら、まあ、知らないタイトルやらアーティストやらで、買う気が起こらない。これは若者向きだな。

そこで、ふと気付いた。パソコンでDVDの映画が見られるなら、CDも聞けるだろう。好きなアーティストやタイトルは、全部CDで持っているじゃないか。

取扱説明書を片手に、恐る恐る音楽管理ソフト「SonicStage」をパソコンにインストール。指示に従い、好きなCD『ジャコ・パストリアスの肖像』をセットした。E505をUSBケーブルでパソコンにつなぎ、「CDから記録する」をクリックしてファイルを転送。完了のメッセージを見て接続を外す——。

さてさて、イヤホンを耳にかけ再生ボタンを押せば、おお、ジャコ独特のベースギターが聞こえてくるではないか。震えたねえ。嬉しくなった。こんな感動は久しぶりだ。年寄りでもできるではないですか。

すぐさまジャコ・パストリアスのCD7枚を全部記録し、勢いで手元にあるCD18枚、約200曲を一気に入れた。

寝る前の癒しは鈴木重子のジャズ・ソロと木住野佳子のピアノ・トリオのクールジャズ、ちょっとにぎやかにいきたいときは、綾戸智絵のごわごわのジャズ・ソロ。アルトサックスなら渡辺貞夫、ピアノ・トリオならオスカー・ピーターソン。懐かしいのはジョージ・ガーシュウィン。そして、最近話題の上原ひとみのピアノ。ジャズだけじゃないぞ。J・POPなら山下達郎、クラシックならモーツァルトの『フィガロの結婚』『交響曲40番』『41番』……。いやいやびっくり、どんどんあの親指ぐらいの機械に記録できる。

いま、私はコイツを肌身離さず身に付けて、いつでもどこでも手軽にジャコジャコ聞いている。

高山 由さん

1937年5月、東京生まれ。元大手パソコンメーカー役員。日本のパソコン産業の黎明期・成長期のけん引役として活躍する。現在は引退し、後進を導く日々を送る。